

学校目標	カトリックの人間観・世界観(men for others)にもとづく教育を通して、愛・奉仕・正義に生きる子どもによるThe Marvelous Schoolを実現する。 最新の教育システムである21世紀型教育により、「クリエイティブな思考力」、「自分の考えを他人にもわかるように表現する力」、「互いが納得できる最適な答えを見つける課題解決に協働できる力」の3つの力を育成し、「men for othersの精神に基づいた平和な社会を作り出す子どもたちを育成する。」
------	---

21世紀型教育

課題解決学習 (PBL)	新しい社会を創造するために課題解決力を身につけるProject Based learning
英語教育	「I think~, because…」という思考で世界で活躍する人材育成のための英語教育
ICT教育	高度情報化社会に対応する能力を育むICT教育

重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価	学校関係者評価																
21世紀型教育実践によるICT教育充実 (PBL・英語教育)	1. 最新の教育システムの導入	・イマージョン授業の円滑な導入と実施ができたか。 ・学年進行に合わせたPBL授業の導入・実践ができたか。	・新1・2・3年生新コース体制 スーパーイングリッシュコース(英語イマージョン)とスーパースタディーズ コース(課題解決型学習)の2コース体制の実施 ・従来の4年生から6年生 21世紀型授業を段階的に導入、思考コード作りに伴う課題解決学習(プロジェクトベースラーニング)を段階的に実施。	・担任は、子どもと親に寄り添い問題や課題に向き合い、早急に対応できている。 ・勉強面で、習熟度別の授業や朝補習、放課後補習とフォローがあるのがよい。また子どもたちへの指導には子ども一人ひとりの性格や気持ちに対する温かい配慮が感じられる。																
	2. 学校生活への満足度アップ (1)英語教育	・英語による質問や発語に慣れ、英語でコミュニケーションしようとする意欲が育ったか。	複数担任制の実施 ・新1・2・3年生 両コースにおいて実施。 SECは60%を越える授業を英語で行うイマージョン教育を実施。 両コースともに週4単位時間にわたる英語授業。 ・4年生から6年生 週2時間+モジュール10分×4回の3単位時間にわたる英語授業。	・子どもが学校に行くことをとても楽しみにしているため、親としてもとてもうれしく思う。 ・給食試食会を開催してほしい。 ・学年によって、髪型、持ち物の指導が違うので、徹底してほしい。																
	(2)ICT教育	PBL学習を促進するツールとしてiPad使用がいろいろな場面で使用できたか。	・ペア・グループによるチームで協働しながら、課題解決学習に向かう効果的なICT機器を活用した授業を実施し、プレゼンテーション能力を高める。	・きれいな日本語を使うこと、挨拶をすることを指導してほしい。 ・音楽会が2部制になったのが残念。全ての学年の発表を鑑賞することで、我が子の成長を感じ、懐かしく思い出す良い機会。																
	(3)探究型教育(PBL授業)	各教科内におけるペア・グループによる探求型教育(PBL授業)の成果があったか。	低学年においては、日常の対話を通じたクリティカルな授業とリフレクションのくり返し。高学年では、合宿活動に向けて自分で課題を持ち、探究し、まとめ、プレゼンテーションをする学習形態の実施のよって子どもたちの論理的思考力を高める。	・宗教教育について、入学前にはイメージが難しい部分もあったが、先日のフリー参観で宗教の授業を拝見し、人間として大切なことをキリスト教の教えと関連付けて子どもたちに伝えており、大人の立場からもなるほどと考えさせられた。																
教育のレベル向上	21世紀型教育実施のための各種研修	各種研修の実施の有無	(1) 21世紀型教育実施のための各種研修の実施 特に今年度は西日本私立小学校連合会の研究発表校として公開研究会開催。 i) 英語教育 ・イマージョン教育の研究および実践発表。 ii) 探究型教育 ・高次思考による課題解決学習(プロジェクトベースラーニング)の思考コード作成の研究。 iii) ICT教育 ・ICT支援員による課題解決学習に適したiPadの活用法の研修。 iv) 宗教教育 ・カトリック精神の理解と醸成のための研究(聖書)および研修 ・宗教科授業の評価の研究 ※ i)～iv)は各部会やプロジェクトチームを設置 v) 生活指導・保護者対応、発達障がい対応 ・校内教員研修の実施 (2) 自己点検と評価 ① 思考コード、思考レベルに基づく評価表による授業の振り返り ② 自己申告表による教育目標実践状況確認と管理職教員との定期的面談における自己点検 ③ 学校評価アンケート(保護者・児童・教員)の実践と分析	・小学校に求めるものは、立派な人間になることや難問を解けることができるようになるのではなく、カトリック精神に基づいた人間教育や情操教育。																
教育環境の整備	安心・安全な環境の構築	各種工事の実施	(1) 設備の点検と改修 ・PGB含有安定器処理及び照明機器改修(法令による実施) ・防火設備定期点検 (2) 防災・防犯設備 ・ベルナデッタホール空調機器更新 (3) 桜並木の照明の改修	<table border="1"> <caption>子どもを入れて満足している (保護者アンケート)</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>よくあてはまる</th> <th>あてはまる</th> <th>あてはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2017年</td> <td>75</td> <td>68</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>70</td> <td>65</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>70</td> <td>65</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	年次	よくあてはまる	あてはまる	あてはまらない	2017年	75	68	5	2018年	70	65	5	2019年	70	65	5
年次	よくあてはまる	あてはまる	あてはまらない																	
2017年	75	68	5																	
2018年	70	65	5																	
2019年	70	65	5																	
募集・入試に係る事業	新入生募集定員確保	・本校教育活動への信頼感獲得とアドミッションポリシーの理解の浸透は実現したか ・募集定員90名の充足	募集活動の強化 ・新入生募集定員確保 本校教育活動への信頼感獲得とアドミッションポリシーの理解の浸透を目指した。 ・5月の西日本私立小学校連合会研究発表会により、21世紀型教育の実践発表をした。 ・ホームページの更新とFacebookによる学校情報発信の頻度を高め、ステークホルダーのみならず、一般の方々にも本校の21世紀型教育の充実をアピールした。 ・募集関連行事として年長児・年中児を対象に幼児体験会を企画し本校のアドミッションポリシーの説明に努めた。 ・2020年度入学生は90名となり募集定員の充足を実現した。	子どもを入れて満足している (保護者アンケート)																